

---

○議長（斉藤 重君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◎議案第30号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（斉藤 重君） 日程第3、議案第30号 平成25年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第30号は、平成25年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算についてであります。

詳細は担当課長をして説明します。

（健康福祉課長 石田正志君 提案理由説明）

○議長（斉藤 重君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○7番（関 唯彦君） 2点ほど教えてください。

16ページです。諸支出金、いつもこれは決算なんかを見ると、170万円、150万円、出てくるんですけど、大体それくらい出てきています。

そこで、大体10万円くらい予算ではみているんですけど、今回5万円にしていますよね。半分に。だったら、100万円大体出てくるものですから、10万円で計上するものかなと思っていたところ、半額にしちゃっていて、ない方がいいんですけども、これは何か・・・、ちょっとそれを教えていただきたいということと、これは去年も聞いたのかもしれないんですけど、15ページです。事務費の負担金ですね。後期高齢者の。これは、先ほど言われましたように広域連合の事務費、共通経費は、先ほど言われましたように、高齢者の人口割が50パーセント、それから、普通の人口割で40パーセントで、均等割が10パーセントという形なんですけれど、それで割り振られてくるんですけど、これは毎年毎年かなり安くなっていますよね。事務費自体がどんどん、どんどん毎年毎年安くなっているのは、全体の事務費が安くなっているのか、それとも、この人口割、高齢者の人口割、そういうものが県下からみて、松崎町がどんどん減っているということなのか、その辺はどうなんでしょうか。その2点をお聞かせください。

○健康福祉課長（石田正志君） 16ページの関係ですけれど、保険料の還付金ですね。こちらに

つきましては、一応過去3年間の実績をこれについてはみております。その結果、21から23までの実績をみているんですけど、その中でも、一番多くて、22年度で4万6000円という数字が出ているものですから、それを参考に出しています。

(関議員「100万円以上・・・」と呼ぶ)

○健康福祉課長(石田正志君) うちの方で見た限りでは5万円以内でした。

そして、事務費の関係ですけど、これは広域連合の人件費とか運営するためのいろいろな経費で、これはご承知のとおりだと思いますが、これも過去の決算額を見ると、21から23まで減額傾向にでているんですね。ですから、ちょっと大本の数字は資料がなくて、すみません。全体として減っている傾向があるのかなと。ちょっとすみません。算定の資料が手元になくて、申し訳ございません。

○議長(斉藤 重君) ほかにございませんか

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斉藤 重君) 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斉藤 重君) 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斉藤 重君) 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斉藤 重君) 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第30号 平成25年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算についての件を挙手により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長(斉藤 重君) 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

---